

藤島地域義務教育学校設立準備委員会 「複式学級」劣った教育」という「固定観念」

藤島地域義務教育学校設立準備委員会の第1回会議が18日、藤島庁舎で開かれました。

委員長に齋藤昭彦・藤島地区自治振興会長、副委員長に近藤直志・渡前地区自治振興会長が、教育部長から提案され、承認されました。

設立準備委員会の設置目的は、「地域・関係者の意見を反映しながら、教育内容や運営方針、施設整備などを検討・整理し、円滑な開校につながることを目的とする。」

検討内容は、義務教育学校基本構想(事業の方向性を示すもの)、校舎建設前早期統合の可能性、文厚エリアの整備に関すること、その他、義務教育学校設立に必要な事項。会議は、年3回(7

月、11月、1月)。今後のスケジュールは、

地域ワークショップを開き、11月の第2回会議まで、基本構想を練り上げる、

その後、地域報告会を開催し、基本構想の共有を図る、

来年1月の第3回会議で、基本構想案を最終決定する、

8年度、9年度に基本計画、基本設計、実設計、

10年度から校舎建設工事に着手、

13年度に竣工、14年度に供用開始。

会議では、新校舎竣工前の小学校の早期統合について、意見を聞きました。

委員からは、「開校まで7年間も複式学級で教育していいのかという意見があった」、「統合になる子どもた

ちから、意見をちゃんと聞くべきだ」などが出されました。

文科省では、単式学級を基本とするものの、児童・生徒数が著しく少ない場合などは、複式学級も「特別の事情」として認められるとして、複式学級の是非について、明確な賛否は述べていません。

特に、令和元年以降の文科省指導資料には、「複式だからこそできる教育」の視点から、実践的指導の手引きが示されています。

オランダのイエナプラン校では、3学年一緒のクラス編成で、社会性・自律性・協働性を育てる取り組みがあります。

「複式学級」劣った教育」という「固定観念」は、教育の多様性や地域との結びつきが損なわれる心配があります。

ふるさと賛歌

鈴木重雄(八色木)

日向富編・歌集「のうぜんかずら」⑥

第5回例会詠草 昭和45年4月2日

彼岸会は墓地のくぼみに雪残り母十三回忌のしるし新らし 池田竹恵

共同して主婦らが作りし温床の藁を踏みつつ笑ひ声高し 石川きくせ

晩雪の積もれる朝送り来し花梅の苗木鉢に移植す 石川重雄

此の月の短歌の集ひに間に合はず駄作まとめてほつと一息 石川民子

めらめらと母の柩の燃ゆる火を手を打ち拝むあどけなき児よ 石川錬太郎

雪どけに今日始めての畦作り疲れて晩酌盃を重ねる 太田辰吉

年若く結婚の祝福受けし友胴上げされて涙押さへり 大友えみ子

減反か休耕しろと言はれても種籾やはり皆水に漬く 海藤徳三

母の帰宅遅しと書ける児の日記「それでどうしたの」と朱書し返す 加藤輝信

減反の割当受けしが老農夫川に入りて苗俵漬くる 小鷹和子

住みなれて今度こそはと思ひしに予期せぬ異動の辞令渡さる 佐藤元蔵

何時からか置き忘れられし裁板は夫亡き後の吾が生活助く 齋藤壮子

雪国の故郷離るる子ら乗せし就職列車のベル鳴り渡る 齋藤春子

生き難き世の苦しさを語る友よ我に頒けやる俸を持たず 鈴木朔郎

雪どけに足に心を配りつつ見知らぬ人と言葉交しぬ 須田稔

ポリバスに馴染みし此の頃桶風呂の亜炭の匂ひ恋ひしく思う 土田昭太郎



藤島老人クラブ創立60周年記念式典

旧藤島町に老人クラブが創立されて60周年となる今年、鶴岡市老人クラブ連合会藤島支部（佐藤博子支部長）が「創立60周年記念式典」を17日、藤島ふれあいセンターで開催しました。

皆川治鶴岡市長や、日向常浩鶴岡市老人クラブ連合会会長、大川重徳羽黒支部長、秋山彌里櫛引支部長、佐藤芳弥朝日支部長、山木知也鶴岡市社会福祉協議会会長、渡邊健福祉センター長、白井寛藤島庁舎支所長、高橋淳呉議と、地元選出市議会議員らを迎え、盛大に祝われました。

記念講演では、「県立庄内農業高校の酒井孝校長が、「人生の先輩方に期待されること」と題し、庄内農高が地域に密着して活動している姿を語りました。

酷暑

酷暑（こくしよ）

城貞（藤の花）

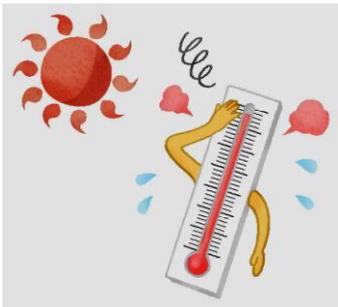
炎塵流汗薄温湯
浴後開襟納夜涼
万点星繁愁昼熱
人々避暑走如狂

炎塵 汗を流して薄温湯
浴後 襟を開いて夜涼を納る
万点の星 繁くして昼の熱きを愁う
人々暑を避け走ることを狂するが如し

暑い日中のよごれた汗を流して、ぬるま湯に入る。

汗は流したが、あまりの暑さに襟を開けて、夜の涼気を入れる。

多くの夜空一面に、星が瞬くのを眺めると、日中の暑さがひとしお、うとうとしく思われる。人々が暑さを避けて、逃げ惑うようすはまるで常軌を逸しているようだ。



酷暑 暑い日中のよごれた汗を流して、ぬるま湯に入る。納
薄温湯 汗を流して薄温湯に入る。

差別と排外主義の政党に6千票超

7月20日投票の参院選で、注目されたのが「参政党」です。「日本人ファースト」を掲げ、「迷惑外国人を排除する」「左の考えは排除する」「男女共

同参画は間違い」など、差別と排外主義をおり撃しまくりました。この参政党に、鶴岡では6140票と、4番目に多く投じられ、軽視できません。

参院選比例代表政党別得票数 鶴岡市開票区 (2025. 07. 20)

1	自由民主党	18,856
2	立憲民主党	7,044
3	国民民主党	6,593
4	参政党	6,140
5	公明党	4,211
6	れいわ新選組	4,063
7	日本共産党	3,890
8	日本維新の会	1,914
9	社会民主党	1,906
10	日本保守党	1,864
11	チームみらい	685
12	NHK党	420
13	再生の道	382
14	無所属連合	256
15	日本誠真会	228
16	日本改革党	41
	計	58,496

※小数点以下はカット

舐められてたまるか

石破首相が「舐められてたまるか」と啖呵を切ったと聞いて、古くから知っている一節「そうだその意気・その心」と言う言葉が浮かんだのでした。

▲当然ですよ。こちらは、心を込めての交渉の為に何回足を運んだか。その帰りの途中に、8月1日から30%の関税を掛けるぞ・と言う書簡を出したとの発表。

「馬鹿にするな」とするのは当たり前だから、「そうだその意気その心」を大事にして欲しいという思い。

▲良くぞ言ってくれたな。とも。関税が今の選挙を苦しめているとの観測があつて、首相はこれに頭を痛めていたところに一方的な発表。当然、国対国の対等になっていないから、頭にきて出た言葉が「舐められてたまるか」なのが良い分かる。今までも妥協していな

いんだから、多くの国民が首相の今後の戦いに期待している。

▲しかし俺には、国対国で対等でないと感じているものがあるんだ。あの「思いやり予算」。日本政府が米軍の施設や従業員の労務費などを負担する費用のこと。1978年に当時の金丸防衛庁長官が「思いやりがあつてもいい」と発言したことから、この名前で呼ばれるようになった。対等の立場なら止めなくっちゃ。

▲米軍施設内は「治外法権」って言うんじゃないですか。今や21世紀、しかも戦後80年過ぎても米国を裁く警察権が無い、事件を犯しても掴められない、飛行機事故が起きても現場に入れないって。こんな国どっかにあるか？世界中で笑っているんじゃないか。

▲首相には是非、「舐められてたまるか」のその意気その心で頑張れ。だ。（石川）